

農業分野

特定技能 活用事例紹介



YUIME Story

YUIMEの物語は沖縄の青空にそびえ立つ
一本の高い煙突から始まりました

10年前、沖縄県南大東島より

「収穫期に人が足りない。このままでは島のサトウキビが終わってしまう。」
一工場の相談からはじまったものが
将来のこの島の産業が失われてしまうかもしれない危惧や
島が無人島になってしまう将来
一島がなくなって日本の国土が脅かされる心配など
様々なことが浮か上がってきました

そこでYUIMEは、農業を守る、日本を守るために
農業支援事業への参入を決意し、農業の慢性的な人材不足を解消していくために
日本人・外国人の双方雇用を進めていくことで
新しい道を切り開いていこうとしています

農業人材支援企業のパイオニアとして、日本の一次産業を支えます

2013年

南大東島でサトウキビ農家への
派遣事業をスタート

2019年

「国家戦略特区特定機関」として認定され
外国人（特定技能）による農業分野への人材派遣を開始

2020年

全国に特定技能外国人の派遣を展開
それに付随して様々なサービスをローンチ

2023年

外国人人材派遣延べ人数
10,000人突破



MISSION

そもそも立ち上がる
理由・原点

守る。
産業を、地域を。
結ぶ。
生きるを、未来を。

VISION

事業の先に広がる
叶えたい未来

日本の一次産業を、
世界の一流産業に
アップデートする。

YUIMEの 特定技能派遣とは？

廃止
決定

技能実習

実習目的

最長5年

※途中最低1か月帰国させることが必要

受入先企業の選択肢が少なく、
劣悪な労働環境から
失踪につながるケースもある

在留資格

在留期間

働き方

特定技能（1号）

（2019年～）

農業・漁業
派遣可能

就労目的

通算5年

※特定技能2号は永住が可能に

勤務先を
自由に選択、転職も可能



特定技能派遣事業ならびに登録支援事業において 日本で最初に許可を受けた企業

農業における特定技能派遣事業者の要件

以下、いずれかに該当し、かつ、法務大臣が農林水産大臣と協議の上で適当と認める者

- ① 農業又は農業関連業務を行っている事業者
- ② 上記、又は地方公共団体が資本金の過半数を出資している事業者
- ③ 業務執行に実質的に関与していると認められる者が地方公共団体の職員又は①に掲げる者など
- ④ 国家戦略特区法に規定する特定機関であること

2019年1月30日

国家戦略特区特定機関として認定



YUIME

派遣事業

登録支援事業

2019年6月7日

特区での実績や
過去の外国人材サポート実績が認められ
特定技能 登録支援機関として認定

特定技能外国人材における 人材支援事業

派遣事業

最短1ヶ月からの人材派遣が可能

リピーター人材で作業効率の向上

手続きなどのコンプライアンス遵守

豊富なサポートで初めての雇用でも安心

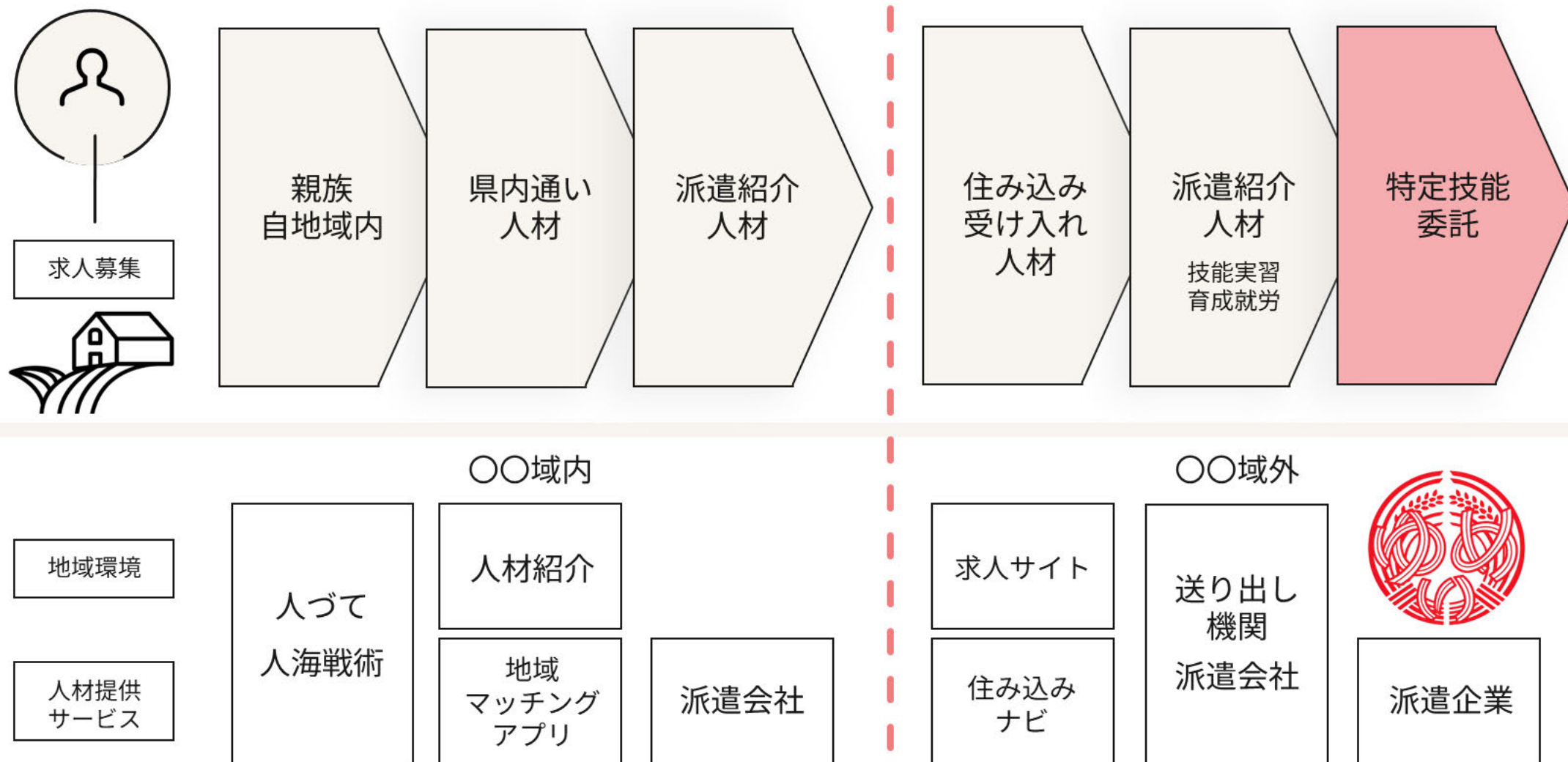
登録支援事業

自社内での外国人雇用における
手間や不安を豊富な実績でカバー

すぐにサポート可能な環境

農作業における専門的な知識と
経験を兼ねた外国人支援

これからの労働力は、いかに域外と連携し 自社・自地域を強化していくか



特定技能外国人を 繁忙期にあわせて派遣し、 産地を広域循環する仕組み

九州・沖縄

12月～3月

慢性的な人材不足

夏

冬

北海道

7月～11月

慢性的な人材不足

12月～4月

農作業は減少

広域産地間連携

YUIMEのネットワークで 全国を循環

地域・時期によって必要な労働力の片寄りがあり
農業では通年雇用はムリ…

繁忙期のみ派遣することで、農家・農業法人の**コスト負担を削減**

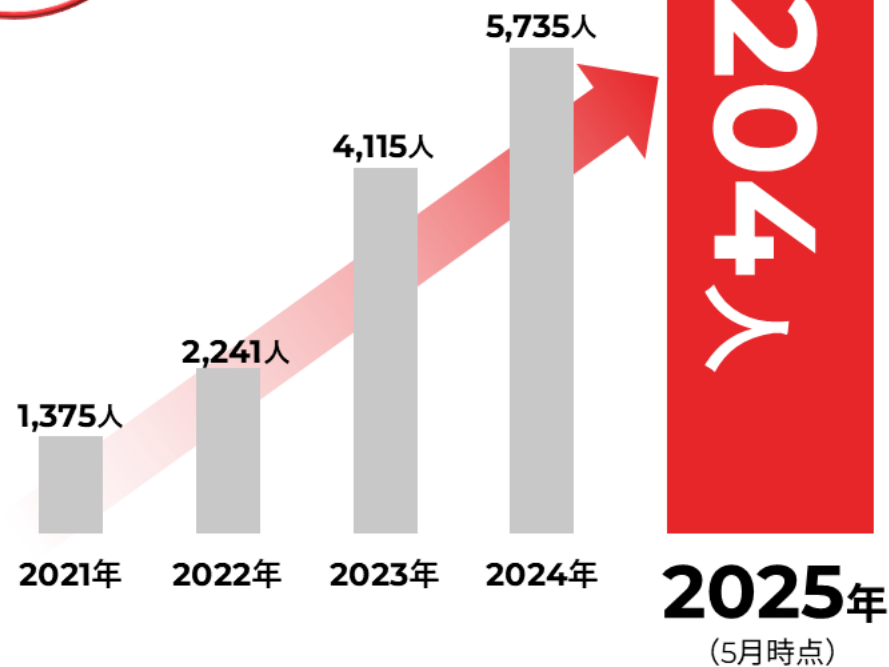
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道												
東北												
関東												
東海												
北陸												
近畿												
中国												
四国												
九州												
沖縄												



これまで多くの農家様を ご支援させていただきました

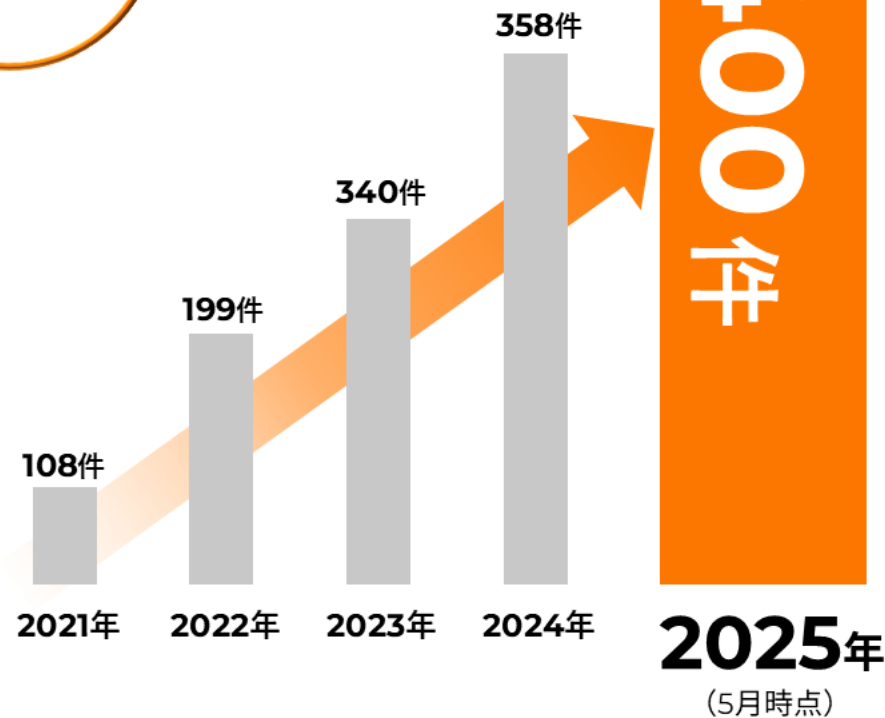
特定技能
稼働人数

日本の農家・生産者様に
派遣した外国人材



派遣先
農家数

これまでに派遣サービスを利用された生産者様





沖縄

おきなわ

九州

みやざき
みなみ筑後
さが
そお鹿児島
種子屋久
あまみ

四国

うま
にしうわ
えひめ中央

北陸

となみ野

関東

はが野
茨城むつみ
市原市

東北

秋田ふるさと

北海道

新はこだて・とうや湖
道北なよろ・東旭川
びえい・士幌町
おとふけ・幕別町
えんゆう・中標津

約50のJA・支部 に導入実績あり



YUIMEは農業事業拡大のための 人材支援パートナー

STEP 1

圧倒的労働力

YUIMEは、全国へ人材供給可能
即戦力となる外国人材の増強対応



STEP 2

日本人社員常駐

エリアや産地によって
日本人社員が常駐
作業KPIや現場改善を
一緒に行うことで
作業効率UP



STEP 3

規模拡大

耕作放棄地を活用し、労働力はYUIME
農家は営農に注力することで
農地拡大および経営基盤の安定





YUIMEでは特定技能外国人材の支援に特化した 日本人管理者が 全国をまわっています



現場立ち上げの際に、外国人スタッフの作業指導はもとより生活指導などの経験豊富なCSS（日本人管理者）がお手伝いさせていただき外国人材派遣を初めて使われる方にも安心してご利用いただいています



導入後に派遣活用を進めていく中で、リーダーとして適性のある外国人材を農家さまと一緒に選任し、今後も外国人材を活用いただく中で新しく配置されるスタッフならびに農家さまの不安がないよう各種免許取得（運転免許・フォークリフト免許）サポートなどをいたします

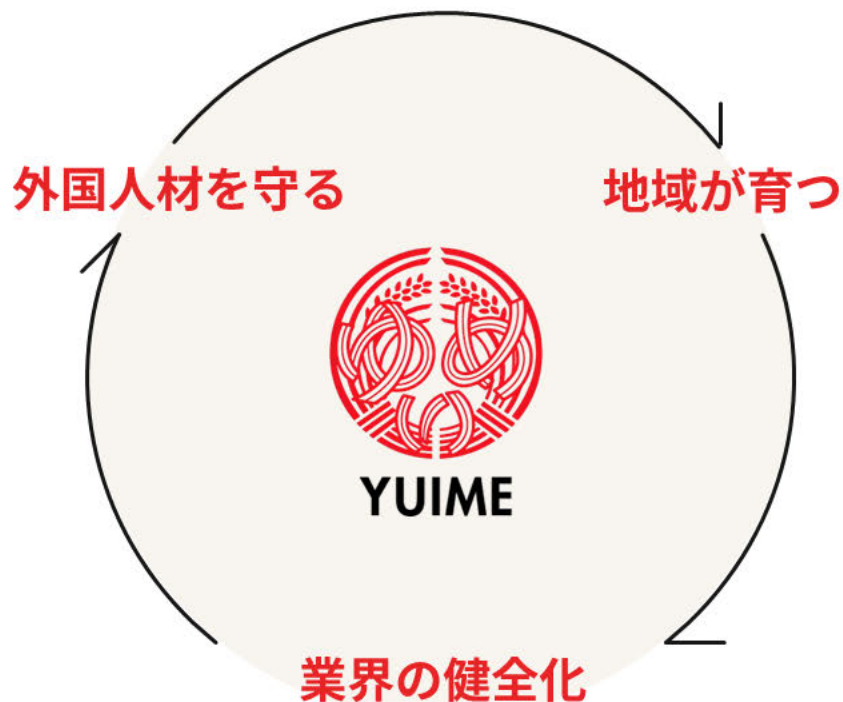


最終的に雇用をしていく場合（特定技能2号）への移行支援や特定技能1号として通年雇用となった場合の支援業務もYUIMEスタッフがすべて行います

YUIMEが発起人として外国人材の人権保護を推進する コンソーシアムを発足

農業分野の特定技能派遣事業者コンソーシアム 組織概要

特定技能外国人の派遣を認められた労働者派遣事業者が相互に研鑽し合い、諸課題への対応を行っていくことにより業界全体のイメージ向上、企業価値拡大を目指すとともに、農業全体の発展へ寄与することができるよう活動を行う。特に、企業活動による人権侵害について企業の責任に関する国際的な議論が活発となっていることをふまえ、人権方針の策定・実行を中心に、派遣外国人材のキャリアアップに向けた仕組みづくり等を通じて事業者の自発的な発展を促進する。



2024年6月
コンソーシアム発足

2024年10月
人権保護方針の策定・公表



今後の取り組み予定

- 人権デューデリジェンスに係る取り組みの具体化
- 人権DDの周知徹底と適切な行動
- 特定技能外国人材のキャリアプラン仕組みづくり

YUIMEは経営陣にJA組合員農家の親族が参画 さらにJA & 地域に貢献していきます

東京圏 **NOW**



**YUIME株式会社
事業本部長 執行役員
田村 敏郎**

父がJAおとふけの組合員
十勝で約50haの畑作農家を現役で経営
小麦、大豆、小豆、金時豆
ビート（甜菜）、とうもろこしを栽培

「労働力のインフラに」

音更町出身の田村敏郎さん（44）は、特定技能外国人の人材派遣などで1次産業を支援するYUIME（ゆいめ）（東京）の執行役員事業本部長として活躍している。農業の人手不足という社会課題解決に取り組む田村さんは、「人材を育成し、農業の労働力や経営者を増やしていきたい。日本の労働力のインフラになりたい」と語る。



「労働力のインフラになりたい」と語る田村さん

音更町小、音更中、帯広農業高、明治大学法学部卒。2005年に楽天に入社、新卒採用の人材メディア事業に従事し、ネットスーパー事業の立ち上げに参画した。14年に有限責任監査法人トーマツに転職、農林水産業ビジネスのコンサルタントとして農産物輸出の調査・支援などを行った。17年に楽天グループに再入社し、トラベル事業や出資先スタートアップ企業のPMI（企業合併・買収後の統合プロセス）を担当。19年にぐるなび執行役員に就任、CX（顧客体験）やモバイルオーダーなどの新規事業領域の責任者を務めた。

特定技能外国人の人材派遣などで1次産業支援

「YUIME」田村敏郎さん（44）＝音更出身

農業経営者を増やしたい

「農業のハードルは高いが、就農の可能性を感じ、農業に参入したい」と入社を決めた。就農のハードルは高いが、広域派遣で技術を磨き、派遣先法人への就職や独立につなげる。

十勝含め全国 帯農高で就農
数百人を雇用 イベント開催

特定技能外国人は同社の正社員として雇用し、全国の農業生産法人などに広域派遣する。冬は九州や沖縄、夏は北海道と季節需要に応じて派遣先を循環させるのが特長。特定技能外国人は転職が可能で、派遣先が直接雇用する「引き抜き」を認めている。現在は数百人を雇用し、北海道や十勝にも派遣している。特定技能外国人で機軸したビジネスモデルを活用し、今年度から日本人を対象にした事業を本格的に展開。家族経営を除くと新規

高め、営農を支援したい。多様な人材がそろい、クライアントの細かいニーズに応えられるよう、規模拡大を意識している」と語る。小学校は複式学級で、「学芸会では1人3役など、何でもやらなければいけない」と振り返る。自由な校風だった高校では、「自分の頭で考え、意思決定する習慣ができた」とする。（池谷智）

シリーズBで新たにパートナー出資として 累計10.5億円資金調達



NORINCHUKIN

農林中央金庫

農林中央金庫は、農林水産業の発展と持続可能な社会の実現を目指し、今回YUIMEへの出資をさせていただきました。一次産業における人手不足は深刻な課題であり、持続可能な農業を実現するためには、新たなアプローチが必要です。YUIMEの革新性と情熱が、持続可能な未来を創造する力となっていくことを期待しています。



JR東日本スタートアップ株式会社
JR East Start UP Co., Ltd.

特定技能外国人を活用した一次産業の働き手不足解消と地方創生。YUIMEと私たちがJR東日本スタートアッププログラムで挑戦したテーマです。持続可能な一次産業と地域社会の構築は、いずれも重要かつ喫緊の課題です。その課題解決に向けて、新たな外国人材活用のプラットフォームを展開するYUIMEを、私たちはこれからも力強く後押しします。日本の一次産業と地方を未来につないでいきましょう。

PR TIMES

ログイン

新規登録



YUIME株式会社

フォロー

一次産業の人材インフラ企業「YUIME」
シリーズBで新たに7.5億円を調達 累計
調達総額は10.5億円に

YUIME株式会社

2025年4月14日 13時00分



13



JA士幌町と通年派遣契約し 人員確保と技術の伝承を行っていく



課題

食用馬鈴薯構内で作業するパート従業員の高齢化が進行

令和6年4月現在：平均年齢64歳 今後5年間で従業員の半数が定年（70歳）退職見込み
そのため**早急な人員確保、技術伝承が喫緊の課題**

取り組み

特定技能外国人 業務習熟のステップアップ3ヶ年計画

- ① 業務スキルを難易度に応じて段階的・計画的に習得させる（ステップアップ計画）
作業内容：選果・受け入れ・機械整備補助・コンテナ組み立て他
- ② 特定技能外国人の受け入れを段階的・計画的に実施
先輩外国人による新規外国人への指導・技術伝承体制の構築
在留期間満了後（5年）に一斉に人員が流出するリスクの回避
- ③ 受け入れに伴う移動経費、住居の賃貸料、水道光熱費、家財道具、Wi-Fi環境整備をJAにて行っていたく

目標

パート従業員と同じレベルの業務スキルを習得させる

特定技能外国人による技術伝承スパイラルの構築で、継続的な人員確保と永続的技術伝承体制の確立

JA士幌町と通年派遣契約し 人員確保と技術の伝承を行っていく



特定技能外国人 業務習熟のステップアップ3ヶ年計画

主に行う作業内容

難易度	簡単			難しい	合計人数
	馬鈴薯関連作業 (片付け含む)	馬鈴薯選果作業	品質検査作業		
令和6年10月	4名	4名	4名		12名
令和6年4月	4名	4名			8名
令和5年8月	4名				4名



JA士幌町と通年派遣契約し 人員確保と技術の伝承を行っていく



新規受け入れ外国人を既雇用している日本人パート従業員の
組織編制に組み込み、日常業務・安全教育の指導を行う

令和6年4月より新規4名、令和6年10月より新規4名の合計12名
特定技能外国人の派遣受け入れを実施（通年受け入れ）



先輩外国人が後輩外国人に作業を指導するという
外国人による技術伝承体制構築を試みた

令和6年の新規取り組みとして、令和5年度に受け入れした4名の先輩外国人が
後輩外国人への指導を行いつつ、1期生は業務スキルに応じて選果作業や品質検査の補助
2期生はコンテナ組み立て、選果作業、3期生は倉庫清掃や選果補助の作業を行った

JAさがと派遣契約、JAと各農家は業務支援で 圃場や選果場業務をYUIMEの人材で



課題

6年前は作業員を募集しても人が集まらず、労働力不足が深刻化し年配の作業員が大半
ピーク時には夜間作業もあり、他部署JA職員が就業後に作業に入る状況
また約700を超えるたまねぎ生産者の収穫期の人員不足を地域解決していくことが課題

取り組み

2023年3月に初めて人材派遣（13名）

まずは選果場の人員不足を解決するため、他派遣会社も活用いただき実証

2024年3月には30人の人材を派遣し、選果場の人員不足だけでなく
生産者の収穫時期の人員をJAさが様で圃場作業を一部対応

今期は36名の人材派遣をし、選果場での作業を中心に

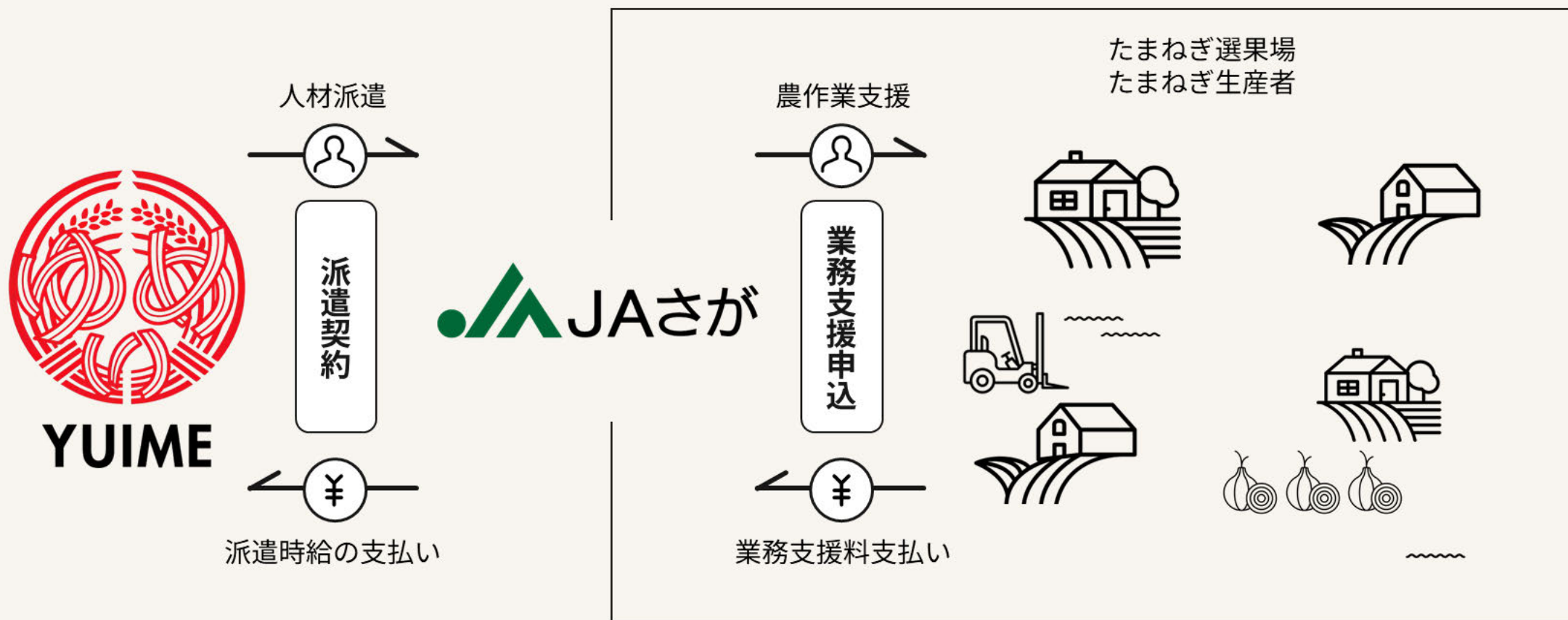
フォークリフト免許を取得した人材を追加派遣することで、より業務の効率化を図っている

目標

生産者の人員不足に伴う、地域ブランドのたまねぎ収穫量を維持・拡大するための
各フェーズでの適正人員配置ならびに循環を行う

JAさがと派遣契約、JAと各農家は業務支援で 圃場や選果場業務をYUIMEの人材で

高齢化に伴うたまねぎの生産者が減少し、産地ブランドであるたまねぎの出荷量の確保が困難な中
地域一体をJAさが様が束ねていただくことで中長期的な人材派遣を可能としている



JAさがと派遣契約、JAと各農家は業務支援で 圃場や選果場業務をYUIMEの人材で



農家から評価いただけるYUIMEの特徴

若いスタッフが多く
活気が出る



若いスタッフが多いと感じる
実際に現場に入ってもらい
他のスタッフと仕事に
取り組んでもらったときに
活気が出る

リスクをYUIMEが
持ってくれてる



退職のような、雇用上生じるリスクをYUIMEが持っている
スタッフが万が一、退場してしまった場合も
補充人員を用意してもらえるため安心できる
また生活・業務上のトラブルや不満などを現地にいる社員が
対応してもらえるため、コミュニケーションも取りやすい



中長期における農業現場の人材支援パートナーです



農家や地域の実績に合わせた労働力供給により
栽培計画や事業のフェーズにあわせて、特定技能外国人を活用した
最適な人材ソリューションを提供いたします

MISSION

そもそも立ち上がる
理由・原点

守る。
産業を、地域を。
結ぶ。
生きるを、未来を。



さあ、一緒に
はじめましょう！





YUIME



03-6434-7111



contact@yuime.co.jp



企画推進部 マーケティングG

清・鎌田

何かご不明点などございましたら、いつでもお気軽にご相談ください